

国語科学習指導案

広島県立教育センター 藤居 結実

- 1 日 時 平成20年10月27日(月)
- 2 学年・学級 第5学年1組 30名
- 3 単元名 筆者の意見や述べ方を読み取る 「森林のおくりもの」
～ きみは、筆者の意見や述べ方に「へえ！ボタン」が何回押せるか ～
- 4 単元について

- 本単元は、学習指導要領「C 読むこと」の指導事項エ「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。」を受け設定したものである。本単元では、筆者の意見や述べ方をとらえることにとどまるだけでなく、自分の立場からそれらについてどのように考えるか、常に意識しながら読むことをねらいとする。

本教材文「森林のおくりもの」は、森林をテーマとした説明的な文章である。身近なことが具体例として取り上げられるため、児童が自らの生活や自分達を取り巻く環境について考え、意欲的に読み進めることのできる文章である。反面、本教材文は述べ方に不十分だと考えられるところがあり、そのため筆者の意見が読み取りにくくなっているという課題も見られる。以上の特徴をもつ本教材文は、本単元のねらいを達成するのに適したものであると考える。

- 本学年の児童は、1学期の説明的な文章「動物の体」の学習において、筆者の意見や書かれている内容、文章構成を正確に読み取るという学習を行っている。これによって、多くの児童はある程度正確にそれらを読み取ることができるようになった。しかし、それらに対して考えをもち述べることはまだ十分ではない。

また、平成20年度『基礎・基本』定着状況調査結果からも、「適切な語句を選択する」設問において、適切な語句を選べた児童の割合は81.6%と高かったものの、選んだ理由まで記述できた児童の割合は50%にも満たないという実態が明らかになった。

以上のことから、本学年の児童は、筆者の意見や書かれている内容等について概ねとらえられるが、それらについて自分の考えを明確にしながら読むことは不十分であると考え。

- 指導に当たっては、学習過程に、筆者の意見、内容や事からの取り上げ方、表現、論理について、自分の立場からそのよさや問題点を吟味・評価する「評価読み」を取り入れる。「評価読み」において、通読する際には、内容や述べ方に対する疑問や発見等を書き込ませる。このことは自分の考えをもちながら学習することを促すだけでなく、それらをもとに学習課題を設定することから、児童は意欲的に教材文を読み進めるようになると考える。第三次、第四次では、筆者の意見や述べ方についてどの程度「分かりやすい」ととらえているか、その度合を数値で表すグラフ「へえ！ボタン」を児童一人一人に持たせ、授業の導入と終末、必要に応じて活用する。加えて、「分かりやすい」「分かりにくい」の考えの根拠が書けるワークシートを用意する。これによって、児童はなぜそのように考えたか、また常に自分の考えを意識することができると考える。第五次には、単元のまとめとして、それまでの学習を基に、筆者の意見や述べ方について、的確に読み手に伝わるか、伝わりにくいのであればどのように書けばよいか、自分の立場から考えたことを「批評文」に書くという学習活動を組み入れる。

また、単元全体の学習の流れが見通しにくかったり学習内容が定着しにくかったりする児童のために、毎時間の「学習の足あと」を残し教室に掲示する。

5 単元の目標

- 筆者の意見や述べ方について考えながら、説明的な文章を読もうとする。
【関心・意欲・態度】
- ◎ 自分の立場から、筆者の意見や述べ方について考えをもちながら読むことができる。
【読むことエ】
- 文章の構成の仕方について理解することができる。【言語事項オ(ア)】

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
筆者の意見や述べ方について考えながら、「森林のおくりもの」を読もうとしている。	自分の立場から、筆者の意見、内容や事がらの取り上げ方、表現、論理に対して、考えをもちながら読んでいる。	段落の組立て方について理解している。

7 指導と評価の計画（全9時間）

次	時間	学 習 内 容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
第一次	1	・「森林のおくりもの」という題名から知っていることや予想できること、疑問に思うこと等を書き出し発表する。 ・「(説明文の) 審査員」として「批評文」を書くことを知る。	○	◎		・「森林のおくりもの」という題名から知っていることや予想できること、疑問に思うこと等を書いている。【関・意・態】	ワークシート 発言
第二次	2	・全文を通読後、筆者の意見、内容や事がらの取り上げ方、表現、論理に対しての反応（予想、同感、疑問、発見、批評等）を教科書（コピー）に書き込む。 ・教科書に書き込んだ反応を基に学習課題を作り、学習の見通しをもつ。	○	◎		・自分の立場から筆者の意見、事がらの取り上げ方、文の書き方やことばの使い方、話の進め方に対して考えたことを教科書（コピー）に書き込んでいる。【読む】	教科書(コピー)
第三次	3	・「森林のおくりもの」にはどんなものがあるか、書かれている内容の大体を読み取る。 ・読み取った内容や述べ方を基にして、教材文を意味段落に分ける。		◎		・事がらの取り上げ方、文の書き方やことばの使い方、話の進め方を基に、教材文「森林のおくりもの」を意味段落に分けている。【読む】	ワークシート 発言
	4 5 6	・学習課題を解決しながら「木材」「紙」「火」「森林のはたらき」について正確に読み取り、筆者の述べ方に対して自分の考えをもちながら読む。		◎		・事がらの取り上げ方、文の書き方やことばの使い方、話の進め方に対して、自分の考えをもちながら読んでいる。【読む】	ワークシート 発言

第四次	7 (本時) ・8	・ 筆者が全文を通して伝えたい意見を読み取り，意見や述べ方に対して自分の考えをもちながら読む。 ・ 考えたことを基に，結論部分（筆者の意見部分）を書き換える。		◎	○	・ 筆者の意見，事がらの取り上げ方，文の書き方やことばの使い方，話の進め方に対して考え，考えたことを基に結論部分を書き換えている。【読む】 ・ 筆者の考えを明確に表現するための段落の組立て方について理解している。【言語】	ワークシート 発言
第五次	9	・ 第一次から第四次までの学習を踏まえ，筆者の意見と述べ方に対して考えたことを「(説明文の) 審査員」として「批評文」にまとめる。 ・ 残された課題の解決方法を考える。	○	◎		・ 筆者の意見と述べ方に対して自分の立場から考え，「批評文」に書き表している。【読む】 ・ 残された課題についても解決しようとしている。【関・意・態】	ワークシート 「批評文」

8 学習の展開（第四次 第一時）

（1）本時の目標

- ・ 筆者の意見と述べ方に対して自分の立場から考えをもちながら読むことができる。

（2）本時の観点別評価規準

- ・ 筆者の意見，事がらの取り上げ方，文の書き方やことばの使い方，話の進め方に対して，自分の考えをもちながら読んでいる。【読む】
- ・ 筆者の考えを明確に表現するための段落の組立て方について理解している。【言語】

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (○) (●「努力を要する」と判断した児童への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習課題を知り第6段落を音読する。 筆者の意見は分かりやすいか？分かりにくいかな？ 2 筆者の意見を読み取り、話し合う。 3 筆者の意見は分かりやすく述べられているかどうか考える。 4 本時の学習をまとめ、次時の学習課題を知る。	○ 前時までの学習の様子が想起できるよう「学習の足あと」を提示する。 ○ 発表する際には、自分の考えの根拠となる叙述を示しながら発表するよう伝える。 ○ 「分かる」と思う度合を「へえ！ボタン」の回数で表すよう指示する。 ○ 「どんなところが分かりやすく、どんなところが分かりにくいかな」「分かりにくいと判断した場合はどのように述べれば分かりやすくなるかな」等、各児童が自分の考えをもてるように、ワークシートを用意し「一人学習」の時間を設ける。 ● 前時のワークシートを参考にするよう助言する。また、個別にも「分かりやすい」「分かりにくい」と思ったことを聞き取り、児童が話したことをワークシートに書くよう指示する。 ○ 「分かりやすい」「分かりにくい」について話し合う際には、事がらの取り上げ方、文の書き方やことばの使い方、話の進め方に視点を当てて考えるよう助言する。 ○ 述べ方の批判に終始しないようにするため、「分かりにくい」と発表した場合には、どのように述べれば分かりやすくなるかな聞き返す。 ○ 話し合ったことを基に、筆者の意見が分かりやすく述べられているかどうか、自分の立場から考えたことをワークシートにまとめるよう指示する。 ○ 本時の学習を振り返り、自己評価をするよう指示する。 ○ 次時の学習に対する意欲を高める。	【読】 筆者の意見，事がらの取り上げ方，文の書き方やことばの使い方，話の進め方に対して，自分の考えをもちながら読んでいる。（ワークシート，発言） 【言語】 筆者の考えを明確に表現するための段落の組立て方について理解している。（ワークシート，発言）